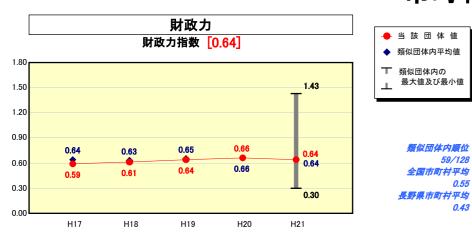
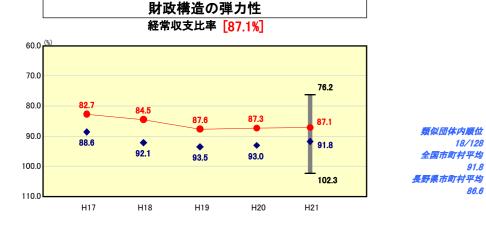
## 市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)







H19

人件費・物件費等の状況

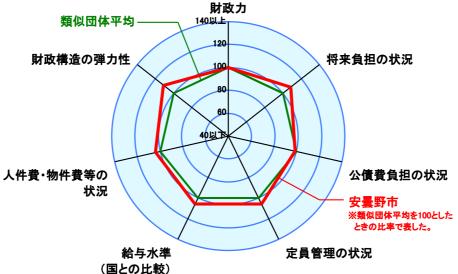
類似団体内順位 44/128 全国市町村平均 115.856 長野県市町村平均

類似団体内順位

全国市町村平均

18/128

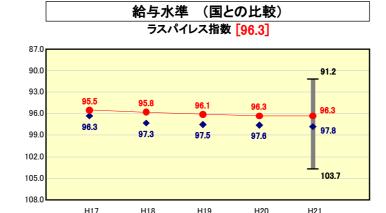




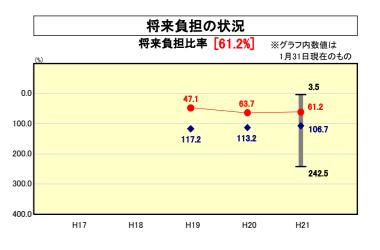
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体

※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない 団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

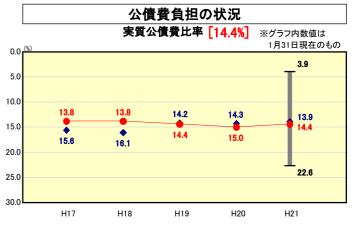
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



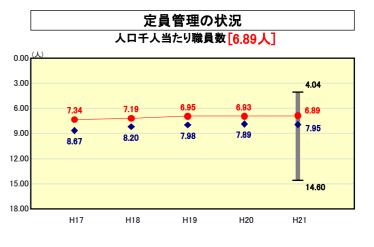
類似団体内順位 34/128 全国市平均 全国町村平均



類似団体内順位 全国市町村平均 928 長野県市町村平均



類似団体内順位 75/128 全国市町村平均 長野県市町村平均



類似団体内順位 40/128 全国市町村平均 **長野県市町村平均** 

#### ※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

H20

184,249

H21

#### 分析欄

210.000

#### 〇財政力指数

H17

指数は0.64。前年より0.02ポイント減少しました。基準財政需要額はほぼ前年並であるが、法人税・たば こ税等の落ち込みにより基準財政収入額が大幅に減となったためです。今後は一層の税収確保強化に取 り組み、収納率向上対策や滞納額圧縮策に力を入れていきます。

#### 〇経常収支比率

比率は87.1%。前年より0.2ポイントの減少です。

H18

分子の経常的経費充当一般財源は、全体的に減額となるも扶助費で大きく増額となったため微増しまし た。分母の経常一般財源は、臨時財政対策債が大きく増額になったため増加しました。結果的に0.2ポイ ントの減となりました。

比率が高くなるほど財源使途が固定していることとなるため、今後も事業見直しを進めるとともに事業優 先度を点検し経常経費の削減に努めていきます。

#### 〇人ロー人当たり人件費・物件費

金額は107,962円。前年より1,916円の減少となりました。決算額は、人件費・物件費ともに減少しています。 人件費は、定員適正化計画により削減を行っています。今後は指定管理者制度導入による効率的な施設運 営、行政評価による事務事業見直し、スリム化を進め、一層の経費削減に努めていきます。

#### 〇ラスパイレス指数

指数は96.3。前年度同となりました。類似団体の平均を下回っていますが、定員適正化計画と職員の 適正配置により人件費総額の縮減に一層努めていきます。

また、人事評価制度の導入により職員個々の能力向上を目指していきます。

#### 〇将来負担比率

比率は61.2%。前年度より2.5ポイントの減となりました。

分子は前年比約180,000千円の減額。主な内訳は将来負担額(退職手当負担見込額、地方債現在高)の 約330,000千円の増、将来負担額から差引く充当可能財源(基準財政需要額算入見込額)の約510,000千 円の増です。

分母は約490,000千円の増額。主な要因は、標準財政規模が普通交付税・臨時財政対策債の増により大き く増額となったためです。

当市は早期健全判断基準と比べかなり低い比率であり、類似団体の平均も下回っています。今後も公債費 等義務的経費の削減を中心とする行財政改革を進め財政の健全化に努めていきます。

比率は14.4%。前年より0.6ポイントの減となりました。要因としては、平成18年度数値(15.2%) が算定から除外され、平成21年度数値(13.4%)が算定対象となったためです。

21年度数値が低くなった要因は、分子の準元利償還金(主に一部事務組合等への繰出金)が大 きく減額となったこと、分母の標準財政規模(主に普通交付税、臨時財政対策債の増)が増額と なったことによります。

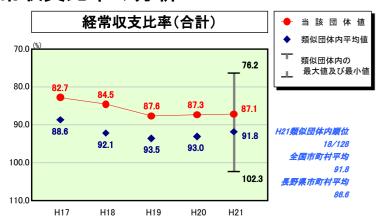
今後においても、市全体として起債の発行額の抑制や平準化を図り、比率上昇を抑制していくこ とから、比率数値も減少していく見込です。

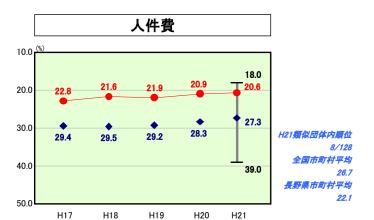
#### 〇人口千人当たり職員数

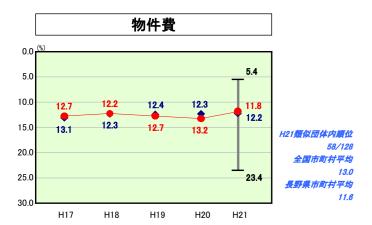
職員数は6.89人。前年より0.04人の減となりました。定員適正化計画による職員削減を実施して いる成果が表れてきています。今後もさらなる効率的な行政運営ができるよう取り組んでいきま す。

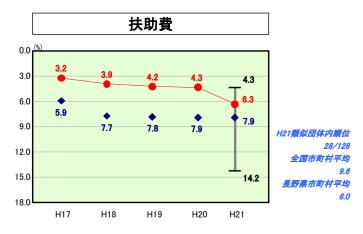
## 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

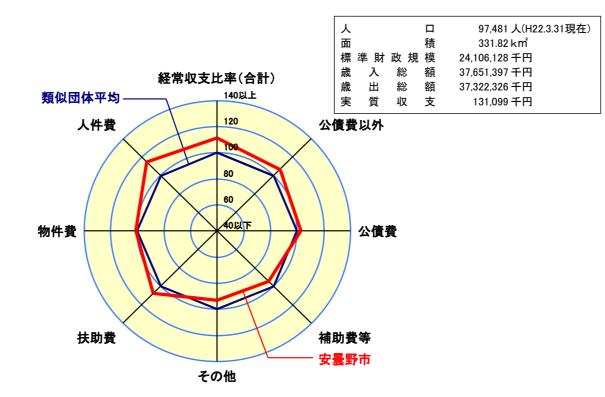
## 経常収支比率の分析











- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

#### 分析欄

#### 〇経常収支比率の分析

比率は87.1%。前年より0.2ポイントの減少です。本数値は、財政構造の弾力性を測る比率であり、数値が低いほど予期しなかった経費や 地域の新たな需要に対応可能な財源を持てることとなります。

#### ・人件費

比率は20.6%。前年より0.3ポイントの減少です。安曇野市定員適正化計画により人員配置の見直し等を計画的に進めており、その成果が数値として表れています。17年度~23年度の間に約80人の職員削減、9.5%減を目標としています。

#### •扶助費

比率は6.3%。前年より2ポイントの増加です。類似団体平均を下回っています。 21年度の数値が上昇した主な要因は、保育園費に属する物件費を決算統計上の取り扱いにより一部扶助費へ振替えたためです。

#### 〇人件費及び人件費に準ずる費用の分析

人口一人当たりの決算額は74,277円で前年より3,824円の減少です。内訳を類似団体平均と比較すると、職員人件費分は定員適正化計画により公22.1%と抑えられました。今後においても正規職員及び臨時職員とのバランスを考慮しながら業務の内容精査と点検を行い、経費抑制に向けた見直しを進めていきます。

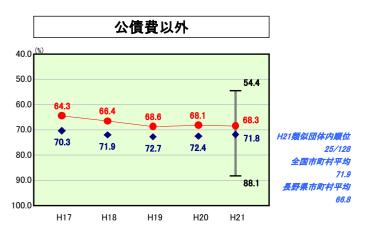
#### 〇公債費及び公債費に準ずる費用の分析

人ロー人当たりの決算額は28,008円で前年より1,593円の減少です。内訳を類似団体と比較すると、償還金は抑えられていますが、公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金が26.2%と高い水準になっています。市として起債の発行額の抑制や平準化を図り公債費負担の適正化を進めます。

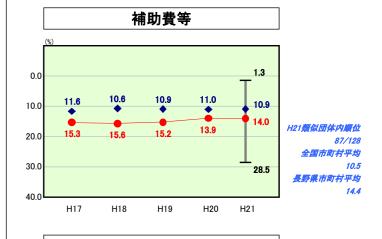
#### ○善通建設重業

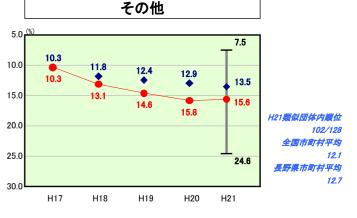
合併後の事業費比較です。21年度の人ロー人当たりの決算額は78,381円で、前年より16,049円の増加となっており類似団体平均を上回っています。

これは合併後計画的に、保育園・児童館・給食センター・学校施設整備等を進めているためです。今後も市民要望の大きな事業を優先しながら必要な施設整備を進めていきます。







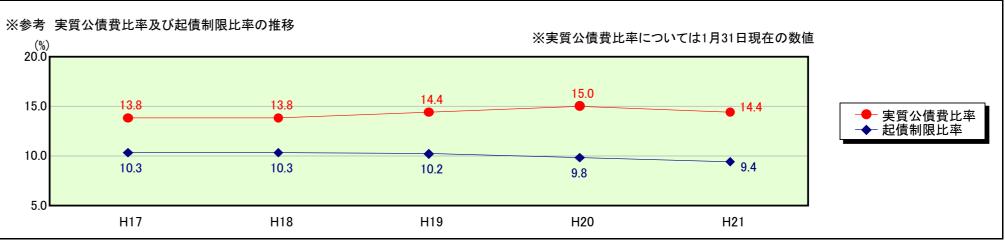


### 長野県 安曇野市

## 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)



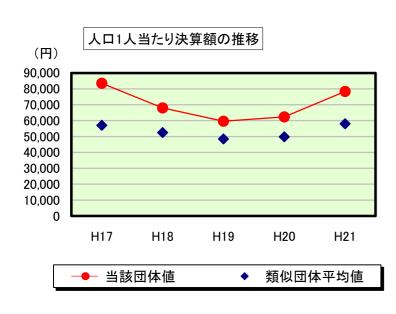




# 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

## 長野県 安曇野市

## 普通建設事業費の分析



#### 普通建設事業費

	当該団体決算	額	人口1人当たり決算額				
	(千円)		当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H17	8, 09	94, 286	83, 550	-	57, 030	-	-
うち単	独分 4,90 4,90	35, 373	50, 943	-	37, 129	-	
H18	6, 60	06, 558	67, 969	▲ 18.6	52, 453	▲ 8.0	<b>▲</b> 10.6
うち単	独分 2, 79	98, 974	28, 796	<b>▲</b> 43.5	30, 509	▲ 17.8	<b>▲</b> 25. 7
H19	5, 82	20, 907	59, 615	<b>▲</b> 12. 3	48, 408	▲ 7.7	<b>▲</b> 4.6
うち単	独分 3, 10	00, 546	31, 754	10. 3	26, 937	▲ 11.7	22. 0
H20	6, 08	80, 578	62, 332	4. 6	49, 774	2. 8	1.8
うち単	性分 4, 22	26, 104	43, 322	36. 4	26, 739	▲ 0.7	37. 1
H21	7, 64	40, 655	78, 381	25. 7	58, 009	16. 5	9. 2
うち単	性分 4,68	80, 376	48, 013	10. 8	32, 190	20. 4	▲ 9.6
過去5年間	平均 6,84	48, 597	70, 369	▲ 0.1	53, 135	0. 7	▲ 0.8
うち単	強分 3,94	48, 275	40, 566	2. 8	30, 701	▲ 2.0	4. 8